（1面）

平成25年度事務事業評価シート

平成 25 年 6 月 21 日 作成

事務事業 No./名 称	■サービス部門 □支 援 部 門	拠点－07 推進事業（大船駅東口市街地再開発事業特別会計）	
主管課	再開発課	関連課	部内各課
分野名	市街地整備		
目標 （目標値）	再開発事業の完了		

人口等のデータ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備 考
	人 口	177,224人	177,204人	177,161人	・各年4月1日 （住民基本台帳）
	世 帯 数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯	
	事業の対象者数				
運営資源状 況	決算値（千円）	46,064	60,524	33,087	
	（国 ・ 県）	14,800	5,200	5,900	
	（負担金等）				
	（一般財源）	31,264	55,324	27,187	
	人員配置数	6.0	6.0	6.0	
	人 件 費（千円）	47,436	51,376	50,836	
	協 働 の パートナー				
事務事業運営経費	総事業費（千円）	93,500	111,900	83,923	
	市民1人当りの経費（円）	528	631	474	
	対象者1人当りの経費（円）				

ベンチマーク（県内外自治体や民間団体との比較値）	団体名⇒								

指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度（27年度）
再開発事業の進捗状況	○	目標値	25%	30%	35%	40%	100%
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	25.0%	30.0%	35.0%	37.5%	

評価のポイント

評価の視点				
	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価（⇒個別事業の概要は裏面）

小事業名	H24決算値	評価 適切＝○、要改善＝△（評価の視点を参照）	⇒ 方向性 A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止
推進事業	0千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ □A ■B □C □D □E
	事業の概要	修繕を要する案件が発生しなかったため、管理施設等の維持修繕等は行わなかった。	
推進事業	45,454千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ ■A □B □C □D □E
	事業の概要	段階的な街区整備を推進するため、権利者の意向確認を実施するとともに、基本計画（案）をもとに都市計画変更手続を進めた。また事業協力者の公募・選定を行った。	
権利者助成事業	610千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ □A ■B □C □D □E
	事業の概要	大船駅東口第一種市街地再開発事業（第1地区）実施の際、事業区域内の土地又は建物に権利を有する者に対し、必要な資金を融資して事業の推進を図ったもので、資金融資取扱金融機関に対し、融資残額の1/4を預託した。	
#REF!		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要		
#REF!		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要		

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	第2地区の再開発事業を進めるためには、事業に対する権利者の基本的な理解と協力が必要であることから、権利者の合意形成を図り、都市計画変更手続を行うことが必要。		
課題解決のための取組	平成23年11月に策定した基本計画（案）に基づき、計画の具体的イメージを提示してブロック別検討会及び個別面談により権利者の理解促進を図った。 都市計画変更手続に向けた関係機関との協議を進めた。	取組の結果	□解 決 ■未解決
未解決の課題	権利者の一部には、事業に対する根強い反対がある。 都市計画変更手続に向けた関係機関との協議に時間を要している。		

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切＝○ 要改善＝△ （評価の視点を参照）			今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続C:改善・見直しD:統合縮小 E:廃止・休止		※□事業完了
		①効率性	○				
		②妥当性	○		各種関係機関との協議を進め、平成25年度中の都市計画変更を目指す。 併せて、権利者の合意形成を図り、先行して事業に着手する街区の見極めを行い、早期事業化を目指す。		課長等名
		③有効性	○			A	担当課長 吉田 浩
		④公平性	○				

（2面） 個別事業の評価

（単位：千円）

小事業名		ザイムスコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	評価⇒適切＝○、要改善＝△（1面の評価の視点を参照）			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
推進事業	主な個別事業	535	管理施設維持修繕料	310	0	○	○	○	○
推進事業	主な個別事業	494	事業協力者選定委員会報償費	208	156	○	○	○	○
		494	市街地整備アドバイザー報償費	306	85	○	○	○	○
		494	大船駅東口市街地開発事業推進業務委託料	43,600	44,425	○	○	○	○
		494	大船駅東口第2地区第一種市街地再開発事業事業協力業務委託料	788	788	○	○	○	○
		494	大船駅東口市街地開発事業概略基本設計業務委託料	60,850	0	○	○	○	○
権利者助成事業	主な個別事業	495	鎌倉市再開発事業資金融資預託金	610	610	○	○	○	○
	主な個別事業								
	主な個別事業								